

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和7年5月30日

多治見市議会 議長 様



会派名 政友会

7 番議員 氏 名 加藤 智章

質問題名	南海トラフ地震をはじめとする大規模災害への自助・共助と公助について
質問要旨	政府地震調査委員会の2025年1月の発表にて、南海トラフ地震が30年以内に起きる確率が80%に引き上げられました。 能登半島地震の事例を鑑みても分かるとおり、これまで以上に住民の自助および共助による災害時の対応力強化が求められています。 先般、笠原町にて実施されました「避難生活体験」において、市内在住の防災士の皆様あるいはオールかさはらの皆様のリーダーシップには着目すべき点が多くありました。 本市としてこの活動を後押しすることで、地域防災力のさらなる向上を図るべくご質問いたします。
質問項目①	多治見市の自治会における防災訓練等の実施状況において、どのような形で把握していますか？
質問項目②	多治見市における防災訓練等について、どのような形でバックアップしていますか？
質問項目③	多治見市在住の方の防災士資格取得 ^{者数} について、近隣の自治体と比較して少ない現状への見解と今後の対策を教えてください。
質問項目④	多治見市の防災教育（小学生・中学生）の現状を教えてください。
質問項目⑤	中京学院大学に譲渡予定の各施設について、避難訓練実施場所および災害発生時の避難所としての役割を担わせる予定はありますか？
質問項目⑥	本市の地域防災力を向上する上では、既存団体を横断する横串力の強化が有効ですが、現状における本市の取り組みについて教えてください。
質問の相手方	企画部、教育委員会、環境文化部